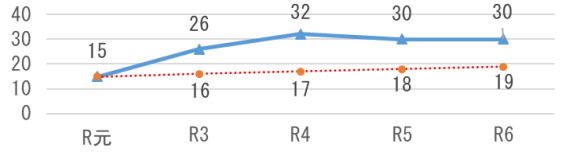
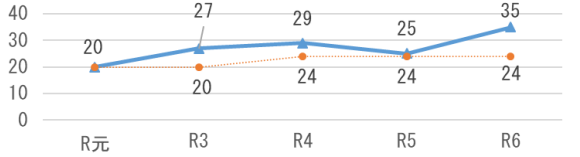
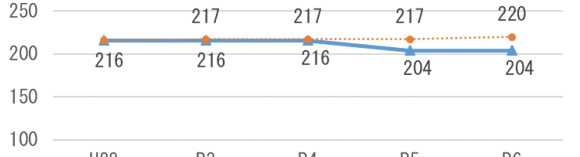
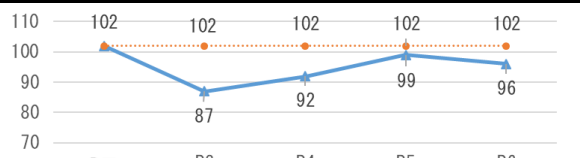
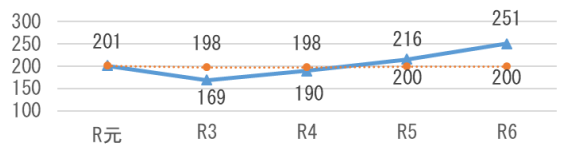
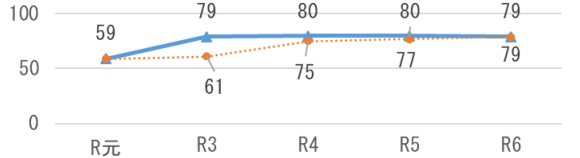
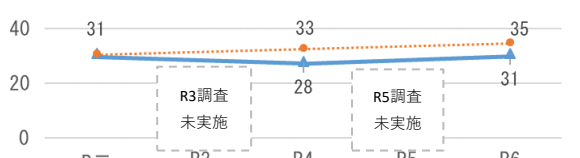


寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略事業 令和6年度取り組み実績一覧

各基本目標における総合戦略事業のKPI（重要行政評価指標）の状況、及び主な取り組み成果は次のとおりです。なお、各事業の詳細な取り組み内容や成果・課題、KPIの達成状況に関する分析については、各事業の取り組み状況点検シートをご覧ください。									
	総合戦略事業名	決算見込額 (単位：円)	KPI (重要業績評価指標)	R6目標値	R6実績値	KPIの達成状況	内部評価 結果	事業実施状況と主な取り組み成果	KPIに対する 事業効果 (外部評価)
基本 目 標 1	エコノミックガーデニング推進事業 【第一次実計：132ページ】 【点検シート：3ページ】	161,929,276	相談・支援企業数（経営課題整理、事業計画、事業継承）（件）	19	30		現状維持 (計画ど おり)	▼平塚信用金庫と連携協定に基づき、町内中小企業の成長促進のため、月1回の定例会を通して、相互支援を実施したことにより連携強化が図られた。また、Web創業応援セミナーを共催で実施したことにより、創業者及び創業希望者の知識向上につながった。 ▼町商工会と連携し、経営分析セミナー、DXセミナーを実施。また、事業計画策定セミナー、創業支援セミナーを共催で実施したことにより、経営者等の知識向上につながった。 ▼町商工会及び日本政策金融公庫と連携し、金融・経営相談会を実施した。 ▼寒川エコノミックガーデニング推進協議会主催でさむかわ製造管理者ワークショップを実施したことにより、右腕人材となる管理者等の育成につながった。 ▼町内企業（大企業も含む）の増設に向け、企業立地等に関する税制優遇支援の相談を実施したことにより、設備投資等の動機づけとなった。 ▼特定創業支援事業修了者を対象とした、創業支援融資の利子補助金支援を実施した。 ▼商業者支援としての住宅リフォーム等建築工事推進助成事業を実施した。 ▼寒川町にぎわい創出支援事業補助金を交付し、地域の活性化に対する支援を実施した。 ▼2市1町の広域事業で、湘南ビジネスコンテストを開催し、創業を支援した。 ▼産業振興課内に経営等に関し専門的な知識を有する中小企業診断士4名を「寒川町地域経済コンシェルジュ」として委嘱・設置し企業総合支援を実施した。 ▼中小企業活性化事業補助金、信用保証料補助金、施設整備資金特別融資利子補助金、事業資金融資利子補給金等の各種補助金支援を実施した。	有効であ った
			創業者数（件）	24	35				
			小売業店舗数（件）	220	204				
			製造業で法人町民税の法人割を納めている企業数（件）	102	96				
基本 目 標 2	観光推進事業 【第一次実計：133ページ】 【点検シート：5ページ】	23,241,477	観光客数 (単位：万人)	200	251		現状維持 (計画ど おり)	▼町観光協会では、町歩きツアーや冬のひまわり等の取組みによる町のPRを実施しており、町として事業周知等で連携した。特に町歩きツアーの参加者数は、ツアー規模や回数の見直しにより前年度に比べ2倍強増となった（令和5年度370人、令和6年度1,029人）。 ▼湘南地区観光振興協議会の県外キャンペーンでは、観光PRブースを設置するとともに、各市町の洋菓子やお茶等の販売や、ゆるキャラのイベントを実施することで、多方面からお客様を呼び込むことが出来た。また、県外キャンペーンでは、町のノベルティグッズ計700個と、観光パンフレット等計900個全てを配布しきることが出来た。フォトコンテストでは、計717件（内、寒川町50件）の応募をいただいた。 ▼観光関連のホームページをリニューアルした。	有効であ った
	タウンセールス推進事業 【第一次実計：133ページ】 【点検シート：7ページ】	47,001,176	町に対して良いイメージを持って転入した人の割合（％）	79	79		現状維持 (計画ど おり)	▼ポータルサイトアクセス数は目標値である18,000アクセスを大きく上回る119,310アクセス（目標値+101,310アクセス）となった。 ▼移住相談機能の充実を図るため「高座」のこころ。実行委員会及び移住サポーターによる相談対応を実施し、相談件数は11件だった（前年比+1件）。 ▼転入者におけるブランド認知度についても、5～6人に1人程度の割合で認知していただいている状況。（転入前にポータルサイトなどで寒川を調べた：17.0%（前回:16.9%）） ▼可視化を通じたブランド醸成として、パリ五輪に出場する町内に縁のある選手の応援用のチラシや立て看板、クーリングシェルターや文化祭のグラフィック、地域通貨「さむかわペイ」のメインロゴなど約40点の可視化を行った。 ▼フィルムコミッションでは、過去最高の成約件数である44件（前年比+21件）を獲得し、地域の方のエキストラ出演など、貴重な社会体験の場を創出するなどシビックプライドの醸成に資する取り組みを行った。また、令和4年11月より開始した町民エキストラ登録制度においては、令和6年度は285人(累計1,084人)から申請があった。 ▼昨今、ネットメディア利用者が増えていることから、通常のプレスリリースに加え、PR Timesを活用したプレスリリースを実施した。令和6年度は、12本のプレスリリースを配信し、445WEBメディアに掲載、53,744アクセスとなった。 ▼ステッカー付のメッセージカードcotonについては、当初目標としていた10,000枚の配布を大きく上回り、約65,000枚の利用があった。	有効であ った
			町民のブランドスローガン『「高座」のこころ。』認知度（％）	35	31				

各基本目標における総合戦略事業のKPI（重要行政評価指標）の状況、及び主な取り組み成果は次のとおりです。なお、各事業の詳細な取り組み内容や成果・課題、KPIの達成状況に関する分析については、各事業の取り組み状況点検シートをご覧ください。

	総合戦略事業名	決算見込額 (単位：円)	KPI (重要業績評価指標)		KPIの達成状況	内部評価 結果	事業実施状況と主な取り組み成果	KPIに対する 事業効果 (外部評価)
			R6目標値	R6実績値				
基本目標3	結婚・出産・子育て環境整備事業 【第一次実計：134ページ】 【点検シート：10ページ】	1,989,890,895	子育て支援センター利用者数（人）	9,670	9,473	要改善	▼新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、支援センターの利用時間制限を廃止し利用者数が回復した。来所が難しい利用者へ、電話等で様子を伺い、子育ての不安や心配を抱える家庭に対する相談、見守りに努め、子育ての悩み等を軽減した。 ▼令和6年4月より精神保健福祉士1名を子育て支援相談員として増員し、養育支援訪問のべ41件（前年比＋19件）、子育て支援相談員による子育て相談のべ794件（前年比＋84件）を実施した。乳児全戸訪問は293件（前年比－15件）を実施した。 ▼令和6年11月ヤングケアラー実態調査を町内の小学4年生から中学3年生に実施した。 ▼健診受診が途切れがちな妊婦に対し、電話による勧奨支援、健診費用補助券が使えなかった場合の償還払いを行い、伴走型相談支援と合わせ適切な受診行動へつなげ、妊婦に寄り添った支援を展開した。 ▼母子保健コーディネーターによる切れめのない寄り添った支援を実施し、継続支援延べ件数は4,063件で前年度より389件増加した。産後ケア実利用人数は、令和6年度は93人で前年度より29人増加した。 ▼令和7年4月に認定こども園として開所予定の幼稚園が2ヶ年計画で改修工事等を行い、施設整備に対する補助を行った。開所したことで確保提供量が28名分増となった。 ▼各施設で保育士不足が深刻な課題となっていることから、令和5年度から引き続き保育士等就職相談会を開催し、4名の保育士確保に繋げた。 ▼寒川小学校区に待機児童が多く生じていることから、令和5年度に給食調理場の余裕スペースを利用し施設整備を行い、令和6年4月から定員増となった。また一之宮小学校区においても既存の施設の利用形態を改善し、令和6年7月から定員増を図ったことにより、年度末の待機児童数は減となった。	有効とは言えなかった
			子育て支援センター利用者の満足度（％）	100	95			
			待機児童数（保育園）（人）	0	3			
			待機児童数（児童クラブ）（人）	0	4			
	魅力的な教育環境推進事業 【第一次実計：134ページ】 【点検シート：13ページ】	184,805,083	英語の勉強が好きな子どもの割合（％）	70	70	現状維持 （計画どおり）	▼教育フロンティア専門指導員を各校に配置することで、若手教員の授業力向上や、児童生徒指導、学級経営の質の改善につながった。 ▼教職員研修会では、個を大切にすること（PBS、人権、アレルギー、熱中症）を取り挙げた。研修後のアンケートでも「今後の実践にいかしたい」と回答した教員が多かった。 ▼授業や会議、各種アンケート等、様々な場面でタブレット端末の活用が見られた。 ▼授業以外の休み時間や清掃時間にも、自発的にFLTに英語でコミュニケーションをとる児童生徒が増えてきている。	有効であった
			全国学力・学習状況調査における課題解決に向けて自ら考え、行動する子どもの割合（％）	80	84			
基本目標4	安心なまちづくり整備事業 【第一次実計：136ページ】 【点検シート：15ページ】	27,842,936	空き巣、自転車盗、ひったくりの年間発生件数 （単位：件）	68	71	要改善	▼犯罪抑止を図るため一之宮分庁舎（防犯連絡所）を拠点とした防犯アドバイザーと防犯相談員による町内全域を青色回転灯装備車によるパトロールを行った。 ▼夜間の犯罪などの抑制を図り安心なまちづくりを推進するため、町内全域のLED防犯灯約3,700灯の更新工事を行ったほか、新たに11灯を設置した。 ▼防犯講話、犯罪ゼロ街頭キャンペーンおよび、さむかわ安全・安心フェアで防犯啓発活動を行った。	有効であった
	若者参画推進事業 【第一次実計：136ページ】 【点検シート：17ページ】	2,645,795	若い世代による協働に向けた取り組み件数（累計） （単位：件）	10	13	現状維持 （計画どおり）	▼まちづくり懇談会特別企画にて、中学生以上で構成されている町内在住の青少年の団体と町長が、町の魅力や課題、町の将来についてどのような取り組みが必要になるのかを話し合い、懇談会の意見は業務を所管する担当部署へ内容の共有を図った。 ▼みんなの協働事業提案制度の採択事業として、障がい者・高齢者・健常者すべての方が参加できる共生スポーツの推進イベントを開催し、多くの方々に車いすフェンシングを体験いただくことが出来た。	有効であった
	快適なまちづくり推進事業 【第一次実計：136ページ】 【点検シート：19ページ】	61,667,284	1ヶ月あたりのコミュニティバス利用者数（人）	4,380	5,844	現状維持 （計画どおり）	▼コミュニティバス・海老名駅-寒川駅間路線バスの利用促進のため、パンフレットの見直しやGoogleマップ等のルート検索に対応させ、利用促進を図るとともに、産業まつりでのバス車両の展示等で町民に地域交通を知り、親しんでいただく取り組みを行った。	有効であった

※KPI（重要業績評価指標）・・・各事業を実施した結果、「何がどうなったか（どれだけの効果があったか）」を示す指標

※目標値もしくは実績値が「－」となっているものは、当該年度に目標値設定がないもの、もしくは特段の事情により実績値を計測できなかったものです。

※内部評価結果：「現状維持（計画どおり）」「要改善」「抜本的な見直し」